

「核兵器のない世界を」署名推進ニュース

発行：原水爆禁止福岡県協議会

電話・FAX 092 741 9146

電子メール アドレス：fgensuikyo@aqua.plala.or.jp 2009年3月3日 No. 1

ピキニデー、成功裏に終る。福岡県から20人参加。

2009年3・1ピキニデーに、福岡県から20人が参加しました。

3・1ピキニデーは2月27日、静岡市グランシップでの国際フォーラムを皮切りに、2月28日の日本原水協集会のあとの分科会、3月1日の墓参行進から焼津市民会館での「3・1ピキニデー集会」まで、全国から1500人以上が参加し、福岡県からは福岡市被爆者の会1名、新婦人4名、福商連4名、民医連6名、平和委員会1名、福岡市原水協2名、事務局2名の計20名が参加しました。

集会は2010年のNPT再検討会議に向けた決起の場となり、原水協集会で基調報告をおこなった日本原水協の高草木事務局長は、新署名「核兵器のない世界を」の1200万達成、被爆者援護・連帯活動、憲法九条と非核三原則を一体として、非核日本宣言への賛同首長、議会決議のさらなる前進、平和行進から世界大会、さらに2010年NPT再検討会議に向けた運動への決起を呼びかけました。

アメリカ代表ジョセフ・カイザン氏の「長崎・広島・ピキニ事件を風化させない日本の取り組みに感謝する」との発言は参加者の感動を呼び、「署名を持ってニューヨークに行こう」という呼びかけには、満場からの賛同の声が寄せられ、「核兵器廃絶は国民的願い。相手を選ばずすべての人々に呼びかけている」(徳島)、「3・1ピキニデーまでに2000筆以上集めた」(新婦人八王子支部)活動など、感動を呼びました。

東京・町田からの参加者の中には、「派遣切り」「雇い止め」などとたたかう青年もおり、みんなでカンパを集めて車で参加した青年もいました。

米艦船入港に抗議 全国から

米原子力空母ステニスの佐世保港入港にとまなう、随伴艦・ミサイル駆逐艦“プレブル”の博多港入港に際し、福岡県原水協は全国の原水協に、寄港を容認する麻生内閣と吉田・福岡市長への抗議、日本の平和と安全を守るために奮闘する米艦船入港反対共闘会議への連帯と激励のメッセージをよびかけました。

早速、長崎県原水協、北海道原水協、兵庫県原水協など全国から、抗議と連帯のメッセージが寄せられました。

呼びかけ人続々と

2月の県原水協常任理事会で決めた、「非核日本宣言」と「核兵器のない世界を」署名キャンペーンポスター製作のための“呼びかけ人”を募る手紙に、県下各地から次々と、意見ポスター運動の呼びかけ人になることを「了解する」という返事のハガキが届いています。

署名目標決めて、節を決めて、創意を生かしたとりくみを

3日、署名推進委員会が開かれ、2010年NPT再検討会議に提出する署名50万目標(福岡県)を達成するため、すべての地区原水協、加盟団体が目標を決め、節を決めて、署名グッズを活用しながら取り組むことを決めました。

目標を決めている地区原水協：福岡14万、八幡3万8千、加盟団体：平和委員会1万、新婦人6万、民医連6万1千です。また、署名をニューヨークに持っていくために、「署名をしてくれた人に一筆10円のカンパをお願いしよう」と決めました。この呼びかけは、2月の全国理事会で福岡県が提起し、いま、全国の仲間から「これはいいアイデアだ」と街頭での署名呼びかけに取り入れられています。

また、3・1ピキニデーに参加した人のうちから、7名がニューヨーク行きを希望しました。